第４回大阪府市ＩＲ事業者選定委員会　会議要旨

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年（2021年）８月27日（金）13:00～17:30 |
| 開催場所 | 大阪府咲洲庁舎　50階迎賓会議室 |
| 議題 | １．プレゼンテーション審査・採点について |
| 出席者 | １．大阪府市ＩＲ事業者選定委員会委員  井上委員、内薗委員、嘉名委員、高橋委員、田中委員、西澤委員、溝畑委員  ２．大阪府市ＩＲ推進局職員  坂本ＩＲ推進局長、那須課長、長野参事ほか |

＜基礎審査結果について＞

応募者の提案内容が募集要項等に定める事業条件を充足していることについて、事務局から報告を受けた。

＜プレゼンテーション審査について＞

第一部　１３：１５ ～ １５：３０

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 所要時間 | 内容 |
| 冒頭スピーチ  プレゼンテーション動画の放映 | 10分程度 |  |
| プレゼンテーション | 50分程度 | 審査項目１・２・３に関する説明 |
| 質疑応答 | 60分程度 | 審査項目１・２・３に関する質疑応答 |
| 採点 | 15分程度 | 審査項目１・２・３に関する採点 |

第二部　１５：４０ ～ １６：５０

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 所要時間 | 内容 |
| プレゼンテーション | 25分程度 | 審査項目４・５・全体に関する説明 |
| 質疑応答 | 25分程度 | 審査項目４・５・全体に関する質疑応答 |
| 総括スピーチ | 5分以内 |  |
| 採点 | 15分程度 | 審査項目４・５・全体に関する採点 |

応募者によるプレゼンテーション実施後、質疑応答を実施し、提案内容についての理解を深めた。

* 海外ＩＲや国内の商業・観光施設との競争性の観点から、大阪ＩＲの各施設やコンテンツの強みや特徴
* 本事業において認識しているリスクとその対応策
* 資金計画や再投資計画の実現性・実効性確保に対する考え方
* 大阪ＩＲにおけるゲーミング需要予測、ゲーミング売上割合に対する考え方
* アフターコロナにおけるＭＩＣＥビジネスモデル
* 大阪ＩＲに富裕層を呼び込むための工夫
* 夢洲２期エリアとの動線上の連続性
* 海上輸送の拠点としてのＩＲ区域北側護岸の将来的な展開
* 性的マイノリティに対する受入環境整備
* ＩＲ区域全体で回遊性を高める工夫や来訪者を惹きつける工夫
* 地元調達についての具体的な検討内容
* 大阪・関西の持続的な成長への貢献（地元貢献）についての意気込み
* ギャンブル依存症の傾向を示す人へのアプローチについて、医療機関や関係機関との効果的な連携のあり方

　等について事業者に確認を行った。

＜審査講評について＞

審査講評　１７：００ ～ １７：３０

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 所要時間 | 内容 |
| 審査講評・意見交換 | 30分程度 | 全体に関する講評・意見 |

プレゼンテーションの内容を踏まえ、提案内容に対する講評及び意見交換を行った。

* 新型コロナウィルス感染症の拡大により、社会経済や観光関連産業に多大な影響が生じている中で、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる非常に意欲的な提案内容となっている。
* 国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現しようという我が国の成長戦略並びに大阪の観光戦略及びＭＩＣＥ誘致方針を十分に理解しており、全体的に評価できる提案内容であった。
* 業績が当初計画よりも下振れした場合のストレスケースについて、応募者は様々なケースを想定しており、リスク対応策もかなり保守的に提示されており、評価できる内容である。
* ＩＲ区域から夢洲２期への歩行者動線については、今後、計画を検討していく中でさらに工夫してもらいたい。
* ギャンブル等依存症対策については、充実した内容が提案されているが、府民からの理解を得られるよう、大阪府・市との連携を図りながら、さらに先進的な取組を行ってもらいたい。

等の意見があった。

以上